

地域づくり活動 NPO 事業助成（連携重視）事業 **実績報告**

団体名	特定非営利活動法人 C・キッズ・ネットワーク	代表者名	大森 節子
事業名	「食べ物は命の糧、大切にしよう」という意識を培う食育講座の開発と実施		

事業実施実績

年 月 日	活 動 内 容
2015/7/22～ 2015/8/20	宝塚学童保育夏休み出前講座 昨年度の助成金で開発した学童保育向けプログラム「もったいない！食べ物を大切に」は宝塚市内の学童保育 10 か所小学生低学年 318 名に実施した。また、今年度開発したお土産教材「もったいないクリンパ」を工作としてプログラムに追加し、自宅に持ち帰り出前講座で学習したことを保護者の啓発に繋げるように工夫した。
2015/10/17～ 2015/10/18	兵庫県民農林漁業祭 イベント参加 昨年度の助成金で開発した学童保育向けプログラム「もったいない！食べ物を大切に」を元にイベントで実施出来るように内容を精査して、ラミネートした教材などを作成した。また展示物として食品ロスをアピールするパネル 3 枚を作成した。さらに、お楽しみ要素に強いイベントでの啓発がスムーズに実施出来るように教材「もったいないスゴロク」を作成し配布した。
2015/10/25	神戸みなとマルシェ イベント参加 イベントテーマ「もったいない！食べ物を大切に♪」 ・ゲームコーナー「ルーツを探そう！あなたはだーれ？」 加工食品を見て、その原料である動物を当てるペア探しゲーム。加工食品の原料を知ること、命を頂いていることを学ぶ ・クイズコーナー「どうして捨てられたの？」 廃棄される食品の写真で見て、お店に並ばない理由、お店から撤去される理由を知り、店の事情・消費者の事情を考える ・工作コーナー「もったいない『くるりんぱ』で遊ぼう！」 工作で作った「くるりんぱ」で遊びながら、「食べ物を捨てるのはもったいない！」「買う前に確かめよう！」「食べきれないならおすそわけ！」などのメッセージを学ぶ ・ごみ袋シアター「ぼくたちを捨てないで！」 まだ食べられるのに捨てられた食べ物の嘆きを通して、「もったいない事」「食べ物を無駄にしない工夫」について考える。 ・パネル展示
2015/12/2	伊丹市ことば蔵 宝塚ガールスカウトで親子講座実施 学童保育やイベントでの経験や開発教材を活用し親子向けの講座を開発し、いたみことば蔵や宝塚ガールスカウトで実施した。低学年向けの親子講座では〇×クイズも実施した。「フードドライブをはじめてしまった。みためが変わるだけでするなんてもったいないなあと思いました。」「出る前にチェックする癖を付けたいと思いました。命をいただいていることを忘れないようにしたいです。」などの感想を頂いた。

2016/2/16	<p>尼崎市浜小学校 6年生学校授業 3講座実施</p> <p>PPTを活用した小学校高学年向けプログラムを開発し、尼崎市立浜小学校 6年生3クラス83名に実施した。今年度の実験講座を受け、次年度では学校への出前講座の本格実施が可能となった。講師もC・キッズ・ネットワーク、フードバンク関西合わせて10名育成した。「消費期限と、賞味期限のちがいがよく分かりました。」「食べられる物は残さず食べることに、必要以上には買わないようにしようと思います。」などの感想を頂いた。</p>
-----------	---

効果と成果

食品ロスに注目し「もったいない食べ物を大切に！」というプログラムが、学童保育や児童館、イベント、親子講座、学校の授業とラインナップ出来ました。今後、C・キッズ・ネットワークやフードバンク関西のメンバーが楽しく分かりやすい対象者に合わせた出前講座を実施します。

収支決算書 (収入)

項 目	金額(円)
地域づくり活動NPO事業助成金	500,000
自己資金	132,783
合 計	632,783

(支出)

区分	項 目	金額(円)	左のうち助成対象金額(円)
直接経費	謝金	54,000	54,000
	交通費	101,540	101,540
	備品費	60,280	60,280
	印刷費	57,652	57,652
	材料費	85,740	76,528
	小 計	359,212	350,000
間接経費(一般管理費)		273,571	150,000
合 計		632,783	500,000